

DAISYによる多言語テキストで、多文化共生社会を創造しよう

♪DAISYとは♪

DAISYは、Digital Accessible Information Systemの略で、文章・音声・画像を統合したデジタルテキスト作成のための世界規格です。DAISYコンソーシアムという国際的組織によって視覚・聴覚障害、弱視、LD（学習困難）、とくにディスレクシア（読み書き困難）など、さまざまな障がいを乗り越える画期的な支援技術として世界に普及しつつあります。

アメリカでは、読み書き困難を伴う子どもたちに、DAISYテキストの配布やその他の支援を「合理的配慮」として学校側に義務づけており、毎年多額の連邦予算によって、図書館のDAISYテキスト化が進められています。日本では、2008年9月から、教科書バリアフリー法が施行され、読み書きに困難を伴う子どもには、ボランティアたちが作成したDAISY版教科書が配布されるようになりました。



DAISY テキストのイメージ図

♪立命館大学DAISY研究会とは♪

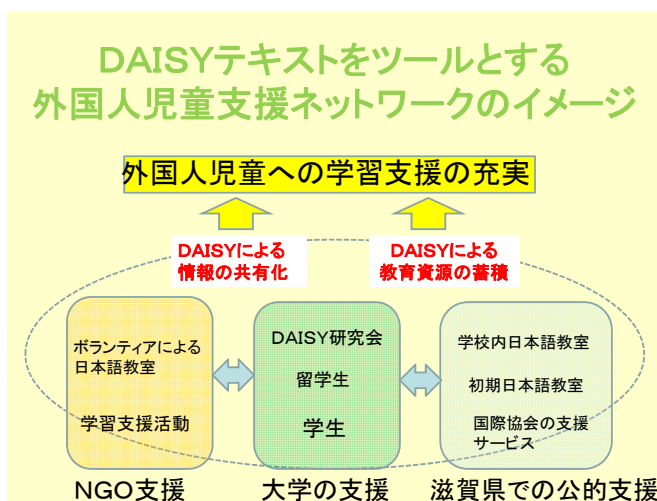
立命館大学DAISY研究会では、DAISYのユニバーサルデザイン性（障がいの有無にかかわらず、だれにとっても便利であるという特色）に注目して、読み書きに困難を伴う子どもはもとより、さらに、日本に在住する外国人児童・成人の日本語・母国語学習支援に応用していくことを目指して、活動を展開しています。

本研究会は、2009年1月に立ちあげられ、2009年には、アジアブラジル学園と協力して、多言語DAISY絵本『大きな夢』を作成しました。2010年からは、湖南省教育委員会と連携。日本語初期指導教室「さくら教室」の石塚先生らとDAISY版教材を開発してきました。昨年からは、石部南小学校プロジェクトをスタートさせています。これは下図のような支援ネットワーク形成の一環です。

♪DAISYによる支援ネットワークの形成♪

いま、多様な文化的背景の方々の方が日本社会に増えています。そのなかで、とくに外国人の子どもたちは、「日本語の習得」という大きな困難に直面し、苦しんでいます。学習言語の習得は、日常生活言語の習得とは異なり、抽象的な概念や複雑な表現法の習得が必須です。そのためには、日本語と母国語とを同時に学ぶことが効果的であるとされています。そうした環境を整えようとすると、時間的・財政的な壁にぶつかります。こうした壁を乗り越える切り札として、私たちは、多言語DAISYテキストを提案し

ています。電子テキストというツールでは、さまざまな学習支援のコンテンツ情報を共有化していくことが容易になります。支援のネットワーク化によって、支援の質や内容も鍛えられ、高まるはずです！蓄積された情報は日本が国際社会に向かっていくための文化的資産にもなるでしょう。



ディジー ♪DAISY多言語テキストの特徴♪

テキストのユニバーサルデザインと位置づけられるDAISYは、多言語学習にも大きな力を発揮します。視覚・聴覚を同時に刺激して、学習が行えるDAISYテキストは紙媒体のテキストよりも効果的です。簡単な操作で小さい子どもから大人まで自分に合った学習が進められます。

DAISY多言語テキストの特徴としては、以下の5点が挙げられるでしょう。

① 視覚・聴覚を同時に使った学習

DAISYテキストでは・・・

- ・文字・音声・画像の同時再生
- ・音声で読みあげる部分の
文字のハイライト
- ・文字の大きさや行間、色の調整
- ・読むスピードの調整
- ・早送り、巻き戻し、章・節へのジャンプ
- ・繰り返し再生

が可能です。文字のハイライトと音声の再生によって、視覚と聴覚の両方から情報を同時に得ることができるので、慣れない外国語学習の読みの難しさを軽減することができます。

音声は、自然な人の声の吹き込みが可能です！

② 多言語に対応

テキストのコンテンツを再生している
DAISYソフトウェアは・・・

- ・約20の多言語をサポート
 - ・様々な言語での使用が可能
- つまり様々な言語でコンテンツを作成し、多言語デジタルテキストの作成が可能です。(コンテンツ作成には有料ソフトが必要となる場合があります。)

③ 自学・自習に最適

DAISYテキストは自宅パソコンに専用のソフトウェア(無料ソフト)をインストールするだけで簡単に再生が可能です。読むスピードや繰り返しも自分で操作ができるので自宅での勉強もスムーズです。また、自分に合わせた進度で繰り返し勉強ができます。

④ 親と子のためのコミュニケーションツール

多言語DAISYテキストは子どもたちだけでなく、親御さんにとっても、便利です。多言語でしかも音声があるので、日本語が苦手な親御さんも、内容が理解できます。子どもと親御さんが、このテキストを通じて、コミュニケーションを深めることが期待できます。また、親御さんの日本語学習にも使えます。

⑤ オリジナルテキストも作成可能

- ・誰でも簡単に操作ができる
- ・オリジナルテキストの作成も可能

DAISYは操作が簡単であるため誰でもオリジナルテキストを作成することができます。また作成過程そのものを学習ワークにしていくことなども可能です!

さらに・・・

- ・DAISY規格は世界共通!

世界中の様々なメーカーが作ったプレイヤーで再生が可能です。だから、互換性が保たれ、オープンで誰でも安心して使うことができます。



野呂昶さんの童話『羽の水』を多言語電子ブック化しました！！

♪『羽の水』について♪

野呂さんは、湖南省在住の詩人です。『おとのかだん』『ふたりしずか』『ゆうひのてがみ』『銀の矢ふれふれ』『薔薇のかおりのタぐれ』など、多数のすてきな詩集を出されています。また、『ふくろうとことり』『あおいさぎ』などの心優しい童話も手掛けてこられました。『こわれた千の楽器』は、小学4年生の国語教科書にも掲載されています。

『羽の水』は、阿星山で起こった山火事を羽に含ませた水で必死で消そうとしたハトのお話。ボランティア精神の意味・意義を問うた作品です。この他に、湖南省にゆかりの深い、糸賀一雄の社会福祉活動を取り扱った『この子らを世の光に』や、長寿寺と常楽寺を開いた良弁和尚を取り扱った『良弁和尚と阿星山』などの郷土資料も制作されています。



●作品中に出てくる阿星山

♪野呂作品の多言語 DAISY 教材化♪

立命館大学 DAISY 研究会は、石部南小学校からの依頼を受けて、『羽の水』『この子らを世の光に』『良弁和尚と阿星山』の野呂 3 作品を、多言語 DAISY 教材化しました。日本語とポルトガル語・スペイン語を文字と音声で読むことのできる電子ブックです。外国人生徒は、内容をよりよく理解できるでしょう。また、「読み」に困難を持つ子どもにとっても、強力な支援ツールになります。

♪立命館大学 DAISY 研究会の石部南小学校プロジェクト♪

立命館大学 DAISY 研究会は、昨年 9 月より、iPad3台とタッチパネルパソコン1台を石部南小学校に置き、「読み書き」に困難を持つ日本人生徒や外国人生徒の支援プロジェクトを展開しています。iPad は、外国人生徒への取り出し日本語教室で大活躍中。子どもたちは、DAISY 版の国語教科書やオリジナル DAISY 多言語教材で、楽しみながら学んでいます。



●真剣な眼差しで iPad を使って教科書を読む生徒

図書室のタッチパネルパソコンでは、休み時間や放課後など、子どもたちが好きなときに DAISY 電子ブックを読むことができます。ひとりが DAISY 電子ブックを読んでいると、しだいに子どもたちが集まってきて、一緒に楽しく本を読んだり、子ども同士で日本語や外国語を教え合ったりと、学びの輪が自然に広がります。障がいや困難のあるなしにかかわらず、**だれもが楽しく本に接すること、これが目標です。**